

【佐藤正久外務副大臣マカッサル来訪】

6月26日（火）佐藤正久外務副大臣がマカッサルを訪問し、南スラウエシ州海事警察本部等を訪れ、将来の海上輸送代替ルートとしてのマカッサル海峡における治安状況について調査を行いました。国家警察本部海事・航空部長のハイルル・ヌル・アラムシャー少将、同海事警察課長ロタリア・ラティフ准将と、南スラウエシ州警察海事・空時警察局長プルヲコ・ユディアント大佐との有意義な意見交換が行われました。また、国家警察本部の船で海上を視察し、昭和20年に旧日本軍の第11号掃海艇が米軍機B24の攻撃を受けて沈没した場所にて献花を行うとともに、テロー村にある旧日本軍人慰霊碑に参拝しました。

マカッサルにいる間の活動は佐藤副大臣のツイッターアカウントからもご覧いただけます。

<https://twitter.com/satomasahisa>

